追加訂正版

０８「全国一斉学力調査」と教育条件、生活条件との相関関係（資料）

大教組･教文部　　０９．９．９

昨年、今年の調査結果として最も重視すべきことは、教育条件の格差、経済的な格差が、学力格差と関係していることを浮き彫りにしたことです。子どもの置かれている教育条件、生活条件という客観的条件が、ペーパーテストという数値測定が可能な部分的な学力においてさえ、大きな影響を与えているということです。

教育条件の違い

＜正答率の高かった福井県、秋田県　と　大阪府を比較すると＞

	大阪府	全国平均	福井県	秋田県
３０人以下学級の比率（小）	（40.8%）	（62.3%）	（84.4%）	（72.7%）
（中）	（10.4%）	（36. 0%）	（54.8%）	（38.7%）
２５人以下学級の比率（小）	（16. 1 %）	（43.0%）	（62.6%）	（60.3%）
（中）	（4. 2%）	（21. 4%）	（35. 8%）	（25. 3%）
			＊　以上は、昨年の学力調査の結果から	
人口１人当たり教育費	（42 位,12 万円）	（13 万円）	（2 位,17 万円）	（10 位,16 万円）
児童１人当たり公立小学校費	（43 位,63 万円）	（72 万円）	（4 位,90 万円）	（7 位,86 万円）
生徒１人当たり公立中学校費	（45 位,76 万円）	（86 万円）	（14 位,91 万円）	（13 位,91 万円）
教員１人当たり小学校児童数	（44 位,19.6 人）	（17.2 人）	（20 位,15.2 人）	（７位,14.0 人）
教員１人当たり中学校生徒数	（43 位,15.9 人）	（14.5 人）	（１７位,13.5 人）	（13 位,12.8 人）
公民館数・100 万人当たり	（45 位，32 館）	（134 館）	（15 位, 259 館）	（6 位, 342 館）
図書館数・100 万人当たり	（44 位，15 館）	（23 館）	（3 位, 50 館）	（9 位, 38 館）
教育費割合・対家計消費支出	（2 位,5. ９％）	（4.3%）	（34 位,3.3%）	（35 位,3.3%）

＊　以上、総務省［統計でみる都道府県のすがた２００８］より

生活条件の違い

正答率の高かった福井県、秋田県、富山県と低かった大阪府、沖縄県、北海道の子どもたちの置かれている生活条件の違い（全国順位）を比較してみますと、以下のようになります。

	大阪府、	沖縄県、	北海道	：	福井県、	秋田県、	富山県
生活保護受給率･千人当たり	（2 位,24.3）	（9 位,15.1）	（1 位,24.6）		（46 位,2.6）	（18 位,11.1）	（47 位,2.3）
就学援助受給率･千人当たり	（2 位,2.66）	（5 位,1.60）	（1 位,2.78）		（46 位,0.12）	（24 位,0.71）	（47 位,0.04）
完全失業率	（2 位,8.6%）	（1 位,11.9%）	（11 位,6.5%）		（47 位,4.2%）	（17 位,6.1%）	（46 位,4.4%）
離婚率･千人当たり	（3 位,2.4）	（1 位,2.7）	（2 位,2.4）		（40 位,1.7）	（44 位,1.6）	（45 位,1.6）
借家比率	（3 位,45%）	（2 位,47%）	（5 位,42%）		（45 位,23%）	（46 位,22%）	（47 位,20%）
刑法犯認知件数･千人当たり	（１位,26.4）	（24 位,12.7）	（26 位,11.7）		（42 位,9.1）	（47 位,6.7）	（37 位,10.2）
実収入･月･1 世帯	（45 位,42 万）	（47 位,35 万）	（39 位,47 万）		（4 位,62 万）	（5 位,61 万）	（1 位,69 万）
共働き世帯割合	（46 位,21%）	（45 位,22%）	（44 位,23%）		（1 位,40%）	（11 位,33%）	（3 位,39%）

総務省［統計でみる都道府県のすがた２００８］より